

令和6年度の重点課題

- 運動やスポーツをすることに肯定的な考えの児童が全体の87.3%である。
- 運動やスポーツが「好き」と答える児童は学年が上がるにつれて減少傾向にある。
- 男子
「上体起こし」、「長座体前屈」は2年続けて県平均値・全国平均値よりも低い数値である。
- 女子
「ボール投げ」は、2年続けて県平均値・全国平均値よりも低い数値である。

上記の課題を受けて具体的に取り組んだ事項

- 柔軟性を高める運動として、「海田西体操第一」を作成し、体育科の授業の最初に準備体操の一部として実施した。
- 「体力アップ貯金カード」を長期休業中の宿題とし、児童が継続して運動に親しむことができるようにした。
- 児童が進んで投げる機会を設けるために、楽しみながら投げる動作が練習できる「とどけ！バトンスロー！」を実施し、投げる動作を高めることができた。

令和7年度新体力テストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	13.79	20.28	39.22	39.50	40.44	9.60	150.00	22.17	52.00	第5学年	15.92	19.94	42.56	37.31	36.88	9.56	148.13	16.25	56.94

県平均値かつ全国平均値未満

令和7年度新体力テストの結果 県平均値(令和7年度)・全国平均値(令和6年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	13.79	20.28	39.22	39.50	40.44	9.60	150.00	22.17	52.00	第5学年	15.92	19.94	42.56	37.31	36.88	9.56	148.13	16.25	56.94

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	55.56	27.78	5.56	11.11	第5学年	62.50	25.00	12.50	0.00

学校独自の意識調査

学年	令和6年				令和7年度			
	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第1学年	92	8	0	0	79.5	12.8	5.1	2.6
第2学年	87.1	12.9	0	0	80	16	4	0
第3学年	83.3	13.9	2.8	0	64.5	22.6	6.5	6.5
第4学年	44.1	23.5	17.6	14.7	74.3	20	5.7	0
第5学年	21.4	64.3	14.3	0	58.6	31	3.4	6.9
第6学年	26.9	46.2	26.9	0	26.9	61.5	7.7	3.8
平均	87.3		12.7		91.3		8.7	

重点課題

情意面での課題

- 運動やスポーツが「好き」と答える児童は学年が上がるにつれて減少傾向にある。

体力面での課題

- 男子
・「握力」、「反復横跳び」、「20mシャトルラン」、「50m走」、「立ち幅跳び」は、県平均・全国平均値よりも低い数値である。
- 女子
・「反復横跳び」は、県平均・全国平均値よりも低い数値である。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- 準備運動にサーキット運動やラダー遊び、縄跳びなどを取り入れ、楽しく俊敏性を高められるようにする。
- 俊敏性のある動きができるように、反復横跳びのポイントを周知し、準備運動の一部に反復横跳びを取り入れる。

体育の授業以外で行う取組内容

- 朝会等を活用して、「なわとびイベント」を実施し、児童が進んで跳ぶ機会を設け、跳ぶ動作を行う場を保障する。
- 長期休業中の「体力アップ貯金カード」にて、縄跳びに取り組みやすくする。

令和8年度の重点目標値

- 「反復横跳び」、「立ち幅跳び」を男女とも県平均・全国平均以上にする。
- 全校児童で運動やスポーツをすることに肯定的な回答の児童の割合を90%以上を保つ。